平成３０年度第３回　大和市文化財保護審議会　会議録

日時：平成３１年２月１３日（水）
午後２時～４時
会場：大和市役所　教育委員会室

出席者等

委　員 （５名）	◎金子　皓彦、〇鈴木　通大、坂本　要、田中　徳久、神崎　直美
指定管理者 （３名）	大和市スポーツ・よか・みどり財団 みどり課長、担当係長、担当職員　各１名
事務局 （３名）	大和市　文化スポーツ部　文化振興課 文化振興課長、市史・文化財担当係長、市史・文化財担当職員　各１名
傍聴者	なし

◎…会長　〇…職務代理者

公開・非公開の状況

■公開　□非公開　□一部非公開
（非公開・一部非公開の場合はその理由）

会議次第

１　開会　資料１－１～資料１－２
２　議事
（１）平成３０年度郷土民家園指定管理事業の報告について　資料２－１～資料２－３
（２）平成３０年度文化財保護事業の報告について　資料３－１～資料３－６
（３）その他
３　中締め・移動
４　大和市文化財保管施設の視察

会議要旨

２　議事
（１）平成３０年度郷土民家園指定管理事業の報告について
　指定管理者より資料の説明。委員より入園者数の減少と今後の運営等について意見あり。各事業は成功しているので、運営の努力を継続してほしい。市内学校の団体利用が活発になるとよい。
（２）平成３０年度文化財保護事業の報告について
　事務局より資料の説明。民俗資料（念仏講中道具一式）について質疑応答あり。
（３）その他

発言要旨

（□委員　▲指定管理者　△事務局）

２　議事

（１）平成３０年度郷土民家園指定管理事業の報告について

▲指定管理者より資料２－１～資料２－３について説明。

【入園者数の減少と今後の運営について】

□総論的に所見を述べさせていただく。ここ数年の入園者数が減少しているが、個人的には文化創造拠点シリウスの人気の大きさが原因だと考えているのであまり気に留めていない。郷土民家園は様々な事業を実施しており、参加者数も前年並みか増加しているものが多いことからも、事業に対する利用者の関心は高いことがうかがえる。事業参加目的ではない通常の来園者層をシリウスからどのように引き戻すかを今後考えていけばよい。同種施設の大半は施設・展示の更新への投資が少ないため、新鮮味が失われるとともに来園者数が減少している。市として、域内の文化遺産をどのようにアピールしていくか考えなおす時期なのかもしれない。大和市と同程度の人口をもつ厚木市が新博物館を建設した。大和市も施設の補充等ができればこの課題は解決できるかもしれない。ただ、現状ではよくやっていると思う。

□施設の入園者数等が減少するとよく「お金を使わずに頭を使え」と言われるが、頭を使って効果があるのは１～２度であり、限度がある。アイデアを活用するには予算的裏付けも必要。

□事業は成功しており、入園者数の増につながらないのが残念。事業を含めた民家園の魅力をより多くの人に伝えられれば良い。

□民家園については、そこでしか味わえない魅力をこれまでも発揮してきた。これからも力をふるって集客の努力をしてほしい。

□川崎の民家園などは、漫画等と連携した広報や企画で集客に努めている。施設の本来の運営からはずれるところもあるだろうが､何か手を打たないといけないだろう。

□集客のターゲットについて、団体では小・中学校が来ると思うが、それ以外の一般客のターゲットをどこに据えるかという問題がある。民俗・歴史系の施設では集客が難しい。土浦のある施設では、鎧を着た撮影会を実施して人を集めたという話もある。それらを入口にして歴史に興味を持ってもらえばよいか。

□同種の施設を視察すると、集客方法など参考になることが多い。

【団体見学について】

□資料２－２からは、団体見学件数が増加しているのに団体見学者数が減少していると読み取れる。団体規模が小さくなっているということか。

▲資料からは小規模の団体が増えていると判断できる。

□資料２－２について、月別団体見学件数に対する説明件数が内数なのだろうが、資料から読み取りづらい。

▲次回以降修正したい。

□資料２－２の月別団体見学件数の２月について、件数「２」に対して内数であるはずの説明ありが「３」となっているが。
▲正しくは説明ありが「２」である。お詫びして修正したい。
□市内の小学校と団体利用に関する連携などはしているのか。
▲市内の小学校とは特に連携していない。同じ先生が毎年利用してくれているようだ。
□今年度は市外、とくに横浜市の団体が多いが。
▲横浜市の小学校は例年、横浜市内の長屋門公園を利用しているが、同園が駅から遠いため今年度は郷土民家園を利用してくれたようだ。
□それは郷土民家園のＰＲポイントになる。学校は一度利用してくれると比較的長期間利用を継続してくれるので、集客効果が高い。
▲実際に訪れた先生による学校間の口コミの効果も高いようだ。
□市内の小学校は決まった先生による利用しかないのか。
▲５年連続で利用してくれる先生もいるが、新しい先生による利用はあまりない。
□こちらから校長会や社会科の先生の部会等を通じて学校側に宣伝できないのか。
△学校連携については市議会等でも重要視されているので、指定管理か市直営かを問わず事務局としても積極的に取り組んでいきたい。これまでの働きかけのなかでは、学校側もカリキュラムの消化に苦慮しており、なかなか見学や体験学習に時間が割けないという現状もきいている。せっかく市内にある施設なので、今後も利用を働きかけていきたい。
□民家園は、野外博物館施設としては展示館や教室がないため講義スタイルの授業ができない。そこが学校側の利用のネックになっているかもしれないので、体系的な学習には向かないが、出前博物館のような事業を実施してもよいかもしれない。
□そのような施設の情報を持たない先生もいる。東京都大田区では新任の先生等が域内の伝統工芸等についての研修を受ける。大和市ではそのような研修はないのか。
△以前は、新任の社会科の先生の研修内容に当課が所管している文化財保管施設等での実習が入っていたが、最近は依頼がない。社会科の先生たちの研究会の講師の依頼も同様に途絶えている。
□関心を持ってくれる先生が途絶えると利用も途絶えるのかもしれない。各学校で所蔵していた民俗資料も同様に、関心のある先生がいなくなると扱いが悪化する状況があるようだ。社会の中で大きなものを目指すには、地域の身近な文化からきちんと学んでいくことが必要。文化財担当の行政職員の専門性を高め、学校の先生の関心を高める働きかけをしていく等の大きな取り組みも必要なのかもしれない。大和市は自然系の専門施設が不足しているか。

【入園者数の他施設との比較について】

□先ほどの報告に、全体の入園者数は猛暑の影響で減少し、その後少し持ち直したとの見方があった。民家園と同じ泉の森に所在する自然観察センターしらかしの家や泉の森全体の入園者数と比較した話があったと思うが、もう一度確認したい。
▲同じく猛暑期間は減少し、秋以降に持ち直している。
□そちらの年間入園者数は今年度やはり減少しているのか。
▲自然観察センターしらかしの家は減少している。グリーンアップセンター、キャン

プ場は例年並みである。

【撮影した写真の活用について】
□報告資料にのっている事業等の写真が素晴らしい。季節ごとの事業をＰＲするチラシ等にこれらの写真を活用しているか。
▲資料にのせているとおり、今年度は事業ごとに参加者の同意を得て多くの写真を撮影した。来年度からは、これらの写真をポスター、チラシ、ホームページ、ツイッター等で活用し、事業の様子が伝わるようにしたい。
□我々のような年代にはこのような素晴らしい写真を、子どもには漫画やイラストを活用して、それぞれの年代に事業の魅力をうったえかけてほしい。

【その他】
□資料の記載方法について。個別の事業の概要や年度ごとの参加者数の推移はよくわかるが、自主事業全体、年中行事全体等の中間的なまとまりの動向がわかりづらい。見出しの作成等も含めて、資料作りをさらに工夫してほしい。
□資料中の語句に「節供」と「節句」が混在しているが、「節供」に統一したほうがよい。
□郷土民家園の古民家はもともと３軒の予定で、１軒はまだ復元していないと聞いたことがある。市内にはもう古民家はのこっていないのか。
△郷土民家園より後に下鶴間ふるさと館が建築されているが、現在のところ解体して保管してある古民家はなく、復元の予定もない。
□報告資料をみると高齢者が参加でき、喜んでもらえそうな事業が多くある。高齢者施設へ年間事業予定のパンフレットを配布してはどうか。
△配布できるよう検討していきたい。

（２）平成３０年度文化財保護事業の報告について

△事務局より資料３－１～資料３－６について説明。

□今年度も多くの事業を企画・実施しており、ご苦労があったことと思う。
□今年度収集した民俗資料中に「一ノ関下念仏講中道具一式」とあるが、これは新規に調査・収集したものか。
△新規に一括で収集したもので、現在、聞き取り調査をおこなっているところである。
□念仏講は昔どこにでもあったが現在はなくなっていきている。調査と資料収集を積極的におこなわないと、念仏講の内容がわからなくなってしまう。
□題目講の資料は収集しているか。
△題目講の映像記録作成時に調査は実施しているが、資料を収集しているかは調べてみないとわからない。

（３）その他

○事務局より、平成３１年４月１日より文化財保護事務とともに本審議会も市長部局

に移管される予定であり、それに伴い委員全員を３月３１日付けで教育委員会から解職し、４月１日付けで市長から再委嘱する旨を説明した。

〇事務局より、市指定無形民俗文化財「福田神社囃子獅子舞」と市指定天然記念物「下和田のケヤキ」の現状について報告した。

〇来年度第１回の審議会を７月開催の予定で日程調整することとした。

４　大和市文化財保管施設の視察

〇事務局職員から施設の概要、収蔵状況について説明後、現地で散会した。